

# 整備の進め方

## 1. 個別校の整備手順

### ① 基本構想

学校施設整備基本計画、各学校の校地の条件、独自性および地域性等を踏まえ、改築にあたっての考え方を整理する

### ② 基本計画

学校施設整備基本計画、基本構想をもとに、設計の前提となる新たな学校施設の全体像を示す

#### 【実施内容(例)】

- ・ 児童・生徒数の想定
- ・ 予定室数及び予定規模
- ・ 施設配置図およびイメージ図

### ③ 基本設計

基本計画をもとに、校地の条件などを建築基準法等の関係法令に照らし合わせ、平面、立面などの基本設計図を作成するとともに、改築に係る概算金額を積算する

#### 【実施内容(例)】

- ・ 基本設計図書、基本設計説明書の作成
- ・ 配置図、各階平面図、立面図、断面図の作成
- ・ 構造、電気設備、空気調和設備、衛生設備、外構、備品等の各図面の作成

## ④ 実施設計

基本設計図書をもとに、詳細な設計を行うとともに、工事の契約および実施に向け、詳細な仕様および整備費用を決定する。

### 【実施内容(例)】

- ・実施設計図書の作成
- ・各工事仕様書の作成
- ・工事費積算書の作成
- ・計画通知\*
- ・工事契約関連資料作成

## ⑤ 工事

## 2. 必要期間

➤ 1校あたり全体で5年程度とする

- |        |    |        |
|--------|----|--------|
| ① 基本構想 | }  | 1~1.5年 |
| ② 基本計画 |    |        |
| ③ 基本設計 | }  | 1~1.5年 |
| ④ 実施設計 |    |        |
| ⑤ 工事   | —— | 2年     |

### 3. 議論の進め方

- 基本構想、基本計画の策定にあたっては、改築する学校、保護者、関係者、地域住民、教育委員会等による懇談会（仮称）を設置するほか、アンケート、ワークショップ\*、説明会等を通じ、地域住民の意見を取り入れながら進める
- 設計、工事の期間中も、説明会・見学会を開催するなど、広く情報提供に努める
- 準備・検討を行うための体制を、教育委員会内に構築する

#### 学校ごとに検討する項目（例）

- 学校改築にあたっての考え方（学校像、コンセプト）
- 改築前の学校から引き継ぐ（残す）べき作品、記念碑等
- 学校施設整備基本計画で定める範囲内での諸室面積の配分
- 複合化\*・多機能化\*の物理面、地域性
- 施設全体の配置